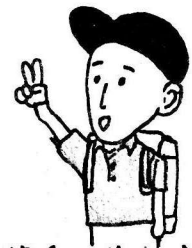


ネグロス島に行ってきました! v.1.2

生活クラブ生協・奈良
共同購入運営部
城本 壘
配布期間: 8/25~

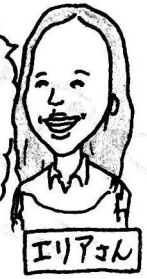


~訪問先報告①~

● オルタートレード社 (バコロド市・ネグロス西州)

オルタートレード社(ATC)はフィリピンの農民の自立、発展を目指している会社です。1980年代の砂糖の国際価格大暴落でネグロスには失業者であふれました。海外のNGOなどからの支援活動はありましたがどれも一過性のもので持続性はありませんでした。援助ではなく継続的な交易で支えたいという思いから1986年に設立されました。現在224名のスタッフ。

ATCスタッフ
今回のツアーに
がバド、通訳して
(英語⇄現地語)
同行頂きました。



エリアオン



● オルタートレード社の活動内容

現在、3,644名の生産者と
関係を構築している。
(バナナ、マニラの生産者)

各産地のバナナバナナの生産から販売
パッキングセンターの運営
農器具、肥料の配布、栽培管理、技術の支援
生産者と消費者の交流

オルタートレード社にはステキなショップがあります。



オリジナル商品などお土産いろいろ買えます。

フィリピンを取りまく問題

- ① ASEAN内の自由貿易による
小規模農家への影響
- ② 外国籍企業(ドールティン)の進出による
農業のやり方、環境の変化
- ③ 遺伝子組み換え作物の増加
- ④ ファストフード、コンビニの増加による
現地の人の食文化の変化
- ⑤ 異常気象の増加 など

外部からの影響に対して、持続可能な
農業、地域づくりを目指す!!

~訪問先報告②~

● ダマ農園 (ダマ農業文筆受益者協会)

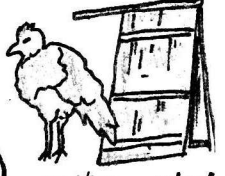
ダマ農園は63人のメンバーで構成された生産者協会です。
主にマニラの栽培しており、すべてマニラ産の原料となります。
マニラは植えてから1年で収穫できるようになります。ダマ農園では植える
時期をずらして年中収穫できるようにしています。

有機認証を
取得しています。

その他にも……

- 地鶏の育成 → 食肉加工
- お米の栽培と精米
(有機認証)
- 魚の養殖
- 森林保護のための植林
(有機認証を得るための条件とあわせる) などを行っています。

- トラクターを2台所有
- 高低差を利用したポタ
- 家畜の糞を肥料に
するなど循環農業を実践しています。



開鶏用のニトリも
いました。
縄張り意識を持た
せるために小屋があります。

ダマ農園は今回訪問した産地のほかにも、平地に近く、取組内容もとても多岐にわたると感じました。

フィリピンの農地改革 (し、おおくまフィリピンの歴史)

フィリピンでは農地は一部の大地主のものでした。農民は地主のもので労働者として
マニラの栽培などを行っていました。当時の最低賃金以下で福利厚生もない中での
労働でした。子供も家族を養うために働いていたので小学校にも行けなかったのです。
政府は土地を持たない農民の貧困削減を目指し、1988年より土地分配を進めました。
政府が農地改革対象地を地主に伝え、自発的に売却させます。地主が拒否すれば強制売却を
行います。も33人地主の抵抗、爆弾が投げられました。

まずはATC職員の方の意識を養い、
消費者の集まりを作ることを目指します。
(生協の力も期待?)

暴力に訴え、死者が出る事件も起きました……
このようにフィリピンの生産者たちにはつらい闘いがあります。
詳しくは1%のツアー報告会を発表予定です!!